

## 市長と語る 市民協働の まちづくり懇談会



南島原市の基本理念「みんなが主役“市民協働のまちづくり”」。それは、住みよいまちづくりのために、市民一人ひとり、市民と行政が手を取り合って、地域の課題を解決しようとする事です。そして、その究極の形ともいえるべき、「ボランティア活動」。

今回のまちづくり懇談会（10月19日開催）では、「ボランティア活動と行政」の「今、そして「これから」を話し合いました。

**市長** 本日はお集まりいただき、ありがとうございます。また、ボランティアを精力的に活動していただいていることにお礼申し上げます。今日は、市内で活動している皆さんのお話をとおして、住みよ、誇れるまちづくりを進めるきっかけとなれば幸いです。よろしくお願ひします。

**環境問題は自分を振り返ること。そしてみんなのために行動すること。**

**リサイクル（リサイクル・マザーズ）**  
私たちは、環境保全活動、特にEM菌の泥団子、米汁の発酵液、食廃油での石鹸づくりを行っています。布津町の婦人会が平成18年の3月に解散。ほぼ同じメンバーでリサイクル・マザーズとして活

動しています。

環境問題は、自分を振り返り、みんなのために行動するという、ボランティアの基本ともいえるべき活動だと思ひます。市長も関心がありますか。

**市長** 私個人としても家庭でも微力ながら取り組んでいます。ところで、点訳ですが、広報紙を仕上げるのにどのくらいかかるものなのですか。



**点訳（点訳サークル）**  
4日まるまるかかりますね。印

**行政も、「できる方法」を一緒に考えてほしい**

**手話（南島原市手話サークル）**

私たちの活動、特にイベントや交流会への参加の呼びかけの手段として、市の回覧板や広報紙を利用させてほしいのですが。

**音訳（音訳ボランティア）**  
私たちも、地名や氏名の読み方など行政の皆さんにお尋ねしなればならない機会が多いのですが、なかなか教えてもらえないことがあります。職員全員が私たちの活

動をもっと知れば、そうした遠回りではなくとも思ひます。職員間の十分な情報の共有をお願ひします。

また、お願ひすると「規則ですから」とその場で断られることがあります。規則は、業務をスムーズにするためのもので、不自由に行政と同じ方向を向いて取り組んでいるのですから、上司に相談いただくなどして、「できる」方法を一緒に考えて欲しいと思ひます。

**市長** 皆さんの活動については、全面的に応援しよう指導していきます。これからも皆さんの立場に立って考えるよう、あらためて指導します。日ごろから、職員には「市役所は、市民の皆さんの役に立つ人がいる場所である」と言っています。もちろんすべてが可能なわけではありませんが、あらためて指導したいと思ひます。

**災害時の障害者への対応について**

**手話** 交流会などに来てもらえれば、その交流が次につながると思ひます。地域としても、障害者や高齢者がいる、ということが再認識できると思ひます。

先日、防災・天災活動の情報交

換会がありました。障害者や高齢者は、避難手段が限られているだけでなく、情報を得る手段も限られています。こうした人たちに向けての対策も必要ではないでしょうか。

**市長** おっしゃるとおりです。市としても、皆さんと情報を共有するシステム作りの必要性を感じていて、実際に始めているところがあります。災害時の障害者や高齢者に対する非難誘導は、さらに手厚くあるべきだと考えています。こうした視点から、民生委員や社協にも協力してもらい、「要援護者避難支援マニュアル」を作成中です。

**リサイクル** 私も民生委員をしています。一人住まいの高齢者がわかるようなマップづくりを民生委員の活動として実施しています。個人情報の問題などもあるため、部外秘にするなど取り扱いは十分に注意しています。万が一の際に、少しでもお役に立てればと考えています。

ただ、情報を集めること自体が難しい時代になっています。

### 南島原市ボランティア連絡協議会



平成20年7月発足。市社会福祉協議会の呼びかけで、ボランティア団体相互の連絡協力を目的に設立活動を行っています。最近では、「ボランティアの集い」や、地域支えあい研修会などを手がけました。

松尾 安博さん

そうした意味でも交流会や、地域のありようは大切なものでしょうね。

**部長（福祉保健部長）** 確かに高齢者となってから目や耳が不自由になった人は、障害者手帳を申請しないケースが多いため、こちらで十分把握することができません。市でも独居老人や障害者に対する災害時の対策を行っています。本場に最後のところは、市民の皆さん同士の相互協力、あるいはボランティアの皆さんにお願ひするしかないのかもしれないですね。皆さんの協力を引き続き、よろしくお願ひします。

皆さんこんな活動をしています  
各会の活動

### 音訳ボランティアうぐいすの会



今年5月から活動を開始。市の広報紙の音訳ボランティアに取り組んでいます。目が不自由な人にも、同じ「広報紙」を届けたい、と毎号心を込めてCDに吹き込んでいます。

平湯まさ子さん  
馬場 房子さん

### 南島原市手話サークル



活動して1年余り。耳が不自由な人とのもうひとつの言葉「手話」を広めるよう奉仕員養成講座や基礎講座のお手伝いを行っているほか、講演会などの手話通訳などを行っています。聴覚障害者との交流会も、年に3回程度開催しています。

岩本 勝利さん  
草野 照美さん

### 南島原市点訳サークルむつらぼし



平成12年に「点字の会」として発足。平成19年から、現在の「むつらぼし」として活動しています。現在は、目が不自由な人のために、市の広報紙と社協だよりの点訳を行っています。

安達 道代さん  
梶原 千秋さん

### リサイクル・マザーズ



布津町で、婦人会の後も継いで資源ごみの収集を行っています。ここ数年間は、EM菌を使った泥団子、ぼかし作りを指導しています。懇談会当日も飯野小学校の子どもたちにEM菌の泥団子作りを指導してきました。

小田 昭子さん

ボランティア活動を一緒にやりたい人を募集しています。まずはお電話でご相談ください。  
南島原市社会福祉協議会 ☎050(3)5336(2)011